

平成26年度 コミュニティパーク事業
応募団体・内容(要旨)

応募団体		萩の台住宅地自治会(700世帯)	
公園名称		萩の台住宅地第2公園	
応募内容の要約	公園概況	公園面積	2,100.96㎡
		公園種別	街区公園
		公園開設	昭和60年5月1日
		環境・地形・特徴	萩の台住宅地のほぼ中心、近鉄萩の台駅から東へ約200mに位置している。公園の東西には矢田丘陵遊歩道として、緑道が伸びている。
	①地域の連携	地域団体	萩の台住宅地自治会
		ワークショップ参加予定人数	30名 老人会、子ども会、サロン、公園整備ボランティアグループなどの有志
	②公園の課題解決	公園の概要・問題点	1) 萩の台住宅地の中心にあり、比較的広く正方形に近い形をしている。 2) 遊歩道で4分割されているが、遊具の撤去が続き中途半端な状態となっている。 3) 高木やその他の植木も大きく育ち、見通しが悪く、防犯上の問題がある。
		地域の皆さんの公園との関わり	1) 自治会が開催する“環境デー”(年4回)での草刈と個人のボランティアでゴミ拾いが行われている。 2) 遊具がないので、子ども達は他の地域の公園に出掛けていることが多い。 3) ポール遊びをする子どもを見かける程度で、大人には行ってみようかと思う状態ではない。
	③公園の育成	公園の施設などに対する希望	本事業の説明を受けてから多岐にわたる要望が出ている。 1) 子ども達が楽しめる複数の遊具 2) 大人が気軽に立ち寄れる東屋 3) サークル活動に使える花壇スペース 4) 災害時に備えたカマドベンチ、等々 皆の希望がどれだけ盛り込めるのか心配なぐらい期待が膨らんでいる。
		公園の育成管理についての考え	萩の台第4公園では、公園整備ボランティアグループが4月から発足、毎週グラウンド整備を行っている。目的がはっきりと決まっていると人が集まり活気が出てくる事、続けられる事が証明された。公園は市が管理していて住民は手出し無用との認識があったが、当事業で公園が完成後は住民で維持管理する意識も活動も可能と判断し応募した。
備考			

■審査のポイント

- ①地域連携…自治会を中心に、地域の方々が連携してワークショップに参加できる
- ②公園の課題解決…既存公園の課題をふまえ、課題解決に取り組む意欲がある
- ③公園の育成…公園をより良く利用し、管理等にも積極的に取り組む意欲がある

平成26年度 コミュニティパーク事業
応募団体・内容(要旨)

応募団体		真弓1丁目自治会(326世帯)	
公園名称		真弓1丁目公園	
公園概況	公園面積	2,051.84㎡	
	公園種別	街区公園	
	公園開設	昭和52年2月2日	
	環境・地形・特徴	真弓住宅地の中にあり、四方を道路に囲まれている。広場と遊戯広場に高さの変化をつけてある。	
①地域の連携	地域団体	真弓1丁目自治会	
	ワークショップ参加予定人数	50名 自治会・老人会・婦人会・子ども会・ボランティアグループ(真弓1丁目見守り隊)・未就学児童の保護者・公園周辺の住民等。	
②公園の課題解決	公園の概要・問題点	1) 道路から公園内が見えにくく、閉鎖的な感じで気軽に入りづらい。 2) 公園北側と南側に1.5mほどの段差があり、隔離された感じで使い勝手が悪い。 3) 公園自体の魅力が乏しく、また公園を活用する仕組みが作られていない。従って、利用する人が少なく、せっかくの素晴らしい財産が生かされていない。 4) 利用状況が少ないために雑草を踏み荒らすことが少なく、雑草が生え進むために、さらに利用が少なくなる状況にある。	
	地域の皆さんの公園との関わり	1) 時々、幼児(保護者と一緒)が遊具で遊んだり、児童がボール遊びをしたり、藤棚の下で歓談する姿を見かけるが、利用状況は少ない。 2) 見守り隊が、年2回花壇に季節の花を植えている。 3) 春の気候が良い時に、同じ町内にある真弓小学校の低学年の校外学習の場となっている。 4) 管理は、自治会が業者に年2回草刈、年2回清掃を委託しているほか、自治会役員が月1回清掃をしている。また、「見守り隊」が花壇の手入れ、砂場の管理を適宜している。	
③公園の育成	公園の施設などに対する希望	<p>※新しい公園のテーマは「多世代の交流・遊び・憩いの場」とする。 ・公園は中央に段差があって、北と南に分かれている。北側は遊具・砂場・石のベンチ・藤棚などがあるため、「憩い、くつろぎの場」「子どもが安心して遊べる場」、南側はグラウンド状なので、「躍動、体力づくりの場」と位置付ける。</p> <p>1) 公園出入口をスロープ化し、手すりを設け、ベビーカー、車椅子、未就学児童、お年寄り、体の不自由な方、自転車等も出入りしやすくする。 2) 公園を南北に分けている段差を利用して、幅の広い緩やかでメンテの容易な石状の滑り台や人工芝のスロープ滑り台にする。また、ターザンロープなども併設する。合わせて非常に緩いスロープ状の遊歩道を設け、お年寄りや車椅子利用の方などの弱者に優しいものにするなど、段差を利用した他の公園にない魅力あるものにする。 3) 子どもやお母さん方、お年寄り等が四季を通じて、遊び、憩い、多世代交流しやすいように、一定の場所(遊具・砂場・背もたれベンチ・花壇・入り口からの通路など)の周辺を雑草の生えにくいように、雑草予防シートなどを施す。 4) 南側に大(大人用)、小(子ども用)のバスケットゴールを設置する。(家庭での設置は容易ではなく、体力作りにもなり、子どもも呼び込める。) 5) 北側にある2台の鉄棒(低・中)に、高い鉄棒(大人用)を加え3台にする。(鉄棒のある公園が少なくなり、大人のぶら下がり健康法にも寄与する。) 6) 背もたれベンチ、背もたれ椅子を設置、日除けや雨宿りにもなるような簡易な屋根も設け、児童、子ども連れのお母さん、お年寄りがゆったり憩えるようにする。 7) 桜や、金木犀など四季折々に映える木を植える。</p> <p>公園の生け垣、ポプラの大木については、景観、見通し、落ち葉のメンテなど賛否の分かれるところであるため、ワークショップを通じて検討する。 公園の周りに児童防護用の低い柵を設置したいとの希望があるが、これについてもワークショップを通じて意見集約する。</p>	
	公園の育成管理についての考え	<p>1) 今回、応募の意見集約に参加した団体を中心に、「真弓1丁目公園協議会」(仮称)を作り、公園の管理はもちろん、以下に述べる様々な活動を企画、実践していく母体とする。協議会は自治会を中心に、真寿美会、子ども会、「見守り隊」、未就学児童の保護者、公園周辺の方々等で構成する。今後、この協議会の働きが公園活用のカギを握る。ワークショップを通じて人材を確保していく。 2) 真弓小学校の校外学習の場になるので、更に学習を充実させる魅力あるものにする。 3) 雑草の問題は公園を育てていくうえで避けて通れない課題である。雑草シートなどの活用に加え、大人だけでなく、子ども達も参加してワイワイと楽しみながら草刈りをする。あるいは、鬼ごっこやかけっこをして草の抑制を図る。そんな「クリーンデイ」を設ける。そして、「皆の手で公園をきれいにしよう!」の機運を盛り上げていく。 4) 同じ町内に、生駒市花の街づくりセンター「ふろーらむ」があるので、連携して最適な木や花の指導、雑草対策の指導を受ける。 5) 公園に来ていただく、公園を楽しんでいただく、公園を活用していただく、そのきっかけ作りとして、 ①現在家庭でしている夏のビニールプール遊びを、プールを公園に持ち寄って、皆でワイワイプール遊びをする。自治会・真寿美会・子ども会・「見守り隊」が子どもたちの見守りやお世話をし、お母さんやお父さん・兄弟・姉妹、お年寄りは、情報交換をして親交を深めあう場にする。 ②フリーマーケットや、趣味を兼ねて野菜作りをしている地域の住民の方々にも協力いただいて、新鮮、安心野菜の提供などの実施。 ③ミニグランドゴルフ、ゲートボールの教室や練習、ラジオ体操・太極拳等の体力作り。</p> <p>これらのイベント企画は、ワークショップを通じて意見を出し合っていく予定です。</p> <p>また、ワークショップを通じて、自治会、子ども会、「見守り隊」、未就学児童の保護者、公園周辺の方々など、「参加した方々が」、多世代交流をして、横のつながりを広げて、一体感を作っていきたいと思います。 ※今回2回目の会合でも、若いお母さん方を中心に盛り上がりました。コミュニティパーク事業を通じて交流していきたいとの思いを強く感じました。 公園にビニールプールを持ち寄るイベントには、この夏から実施してほしい、したいとの熱のこもった要望もあります。 そして、リニューアル後の公園の活用等を話し合う中で、その輪を広げ、公園に集う様々な機会を作り、多くの人が公園に足を向けて頂けるよう、魅力ある公園にしていきたいと思っています。 公園を核として、子どもが安心して遊べる街、若い家族が魅力を感じる街、高齢者がこの街に、「ありがとう!」と言える街、障がいを持って暮らせる方が安心して暮らせる街、この街に住んで本当に良かった、そう思える街にしていきたいと思っていますし、そのためには、 ①心と心が通じ合える仲間を増やす事 ②お互いに助け合う気持ちを持ち続ける事 ③多世代交流の機会を拡充していく事 が、大切になってきます。</p> <p>これらを達成するために公園を大いに活用していく所存です。</p>	
備考			

■審査のポイント

- ①地域連携…自治会を中心に、地域の方々が連携してワークショップに参加できる
- ②公園の課題解決…既存公園の課題をふまえ、課題解決に取り組む意欲がある
- ③公園の育成…公園をより良く利用し、管理等にも積極的に取り組む意欲がある